

山口新聞

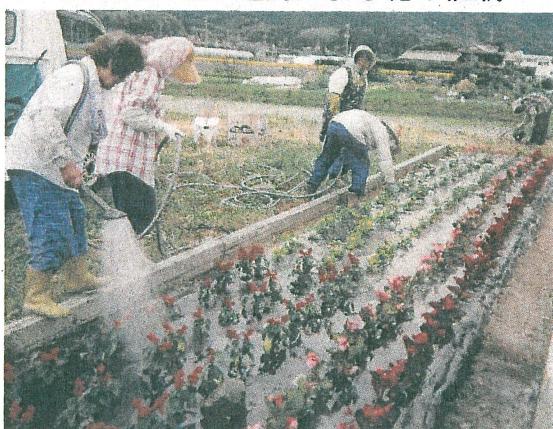
平成 25 年 2 月 15 日 (金)

N.O. 43



上 会員の皆さん

下 婦人会との連携による花の植栽



守ろう 地域の手で

農地・水・環境

④3

当会は、長門市街地から湯本温泉へ向かう国道31号沿いに広がる26㌶の農地を対象に活動している。高齢化が進み、農地の保全

6号沿いに広がる26㌶の農地を対象に活動している。高齢化が進み、農地の保全

6号沿いに広がる26㌶の農地を対象に活動している。高齢化が進み、農地の保全

6号沿いに広がる26㌶の農地を対象に活動している。高齢化が進み、農地の保全

河原沖資源保全会(長門市)

地域活性化に役立つ活動へ

実験事業の1年間は模索しながらの活動だったが、今は農地・水保全管理支

実験事業の1年間は模索しながらの活動だったが、今は農地・水保全管理支

実験事業の1年間は模索しながらの活動だったが、今は農地・水保全管理支

実験事業の1年間は模索しながらの活動だったが、今は農地・水保全管理支

払交付金制度を有効に活用し、あぜの草刈りや水路の泥上げなどといった農地・農業用施設の保全・長寿命化活動に地域全体で取り組んでいる。

また、自治会、老人会と協働して缶やゴミを拾う活動や、婦人会と協働して花を植える活動などにより、環境保全や環境美化も推進している。

当会発足当時は活動の維持に大変苦労したが、重ね

・管理が非常に難しくなった実情を踏まえ、1年間の実験事業を経て2007年4月から本格的に農地保全活動を開始した。

今後は高齢化・過疎化をきた実情を踏まえ、1年間の実験事業を経て2007年4月から本格的に農地保全活動を開始した。

今後は高齢化・過疎化をきた実情を踏まえ、1年間の実験事業を経て2007年4月から本格的に農地保全活動を開始した。

今後は高齢化・過疎化をきた実情を踏まえ、1年間の実験事業を経て2007年4月から本格的に農地保全活動を開始した。

【メモ】代表＝河田俊幸
△会員＝農業者58戸、

河原自治会、河原宮農組合、義隆四坊井出水利組合、河原婦人会△設立＝

2007年4月1日△連絡先＝長門市深川湯本296、河田俊幸さん☎0837・22・2668